

科目区分	専門教育科目	授業科目名	まちづくり景観				科目コード	26L302	担当者	平山 広孝			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 地域未来創生コース	配当年次	2年次	開講学期	春学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件				
授業形態	講義	履修条件							教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分				
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	長崎市・景観研究所/nuilの所長として、長崎の景観まちづくり活動に長年携わった経験を活かし、景観を通して具体的な地域課題への対応の実例を交えながら、今後求められる地域のまちづくりについて実践的な視点から講義する。							科目に含めることが必要な事項				
授業の主題	「景観」とは単なる眺めではなく、地域の人々の営みや歴史が積層したものである。長崎の独特な地形や歴史的背景が生み出した景観の価値を学び、持続可能なまちづくりのために必要となる施策の形成能力を養う。							課題等への対応 (フィードバックの方法等)	ミニレポートについては、次回授業時に全体に向けた講評を行い、優れた視点を共有する。質問等に対しては、授業内での回答または個別に対応することで学習の定着を図る。					
授業の方法	スライドや映像資料を用い、長崎や国内外の景観まちづくり事例を紹介する。講義形式を基本とするが、受講生の気づきを促すための対話や、自身の考えをまとめるミニワークを取り入れ、主体的な学びを支援する。							アクティブ・ラーニングの実施方法	景観写真や事例を用いた課題探究型のミニワークを実施する。身近な景観について自身の視点で評価・考察し、意見交換を行うことで、景観を見る眼を養う。					
回数	授業計画							事前・事後学修						
第1回	ガイダンス・「まちづくり」「景観」とは何か・「まちづくり」「景観」の定義と、まちづくりにおける景観の重要性について学ぶ。							事前: 身近な街並みを観察し、気になる景観を探しておく。 事後: 講義内容を整理する。						
第2回	長崎の歴史と景観(長崎開港から戦前まで): 長崎の基本的な地勢、1571年の長崎開港からもたらされた海外交易による近世以降の繁栄について学ぶ。							事前: 長崎の古地図や資料を閲覧し、地形の特徴を確認する。 事後: 講義の要点をまとめる。						
第3回	長崎の歴史と景観(戦後から現代まで): 戦後復興都市計画、長崎特有の密集斜面市街地の形成、ナガサキアーバンレッサンス2001構想などの経過を学ぶ。							事前: 身近な町並みのなかで、戦後に実施された政策との関係を考察する。 事後: 講義内容を考察しまとめる。						
第4回	景観を守るルールと仕組み: 景観法や長崎市景観条例など、美しい街並みを守り育てるための仕組みを概観する。							事前: 景観規制に関するニュースや話題に関心を持つ。 事後: 景観を守るルールの意義をまとめる。						
第5回	歴史的景観とまちづくり: 長崎居留地や長崎町家など、歴史を生かしたまちづくりの事例と課題を学ぶ。							事前: 長崎居留地や長崎町家について調べる。 事後: 歴史を生かしたまちづくり施策の具体例について考える。						
第6回	日本をリードする長崎市の夜間景観: 「世界新三大夜景」に選ばれた長崎の実例をもとに、夜間景観形成の意義や手法、効果を学ぶ。							事前: 街の灯りや夜景について意識して観察する。 事後: 講義で得た知識を整理する。						
第7回	これからの歴史・景観まちづくり: 人口減少社会における空き家や歴史的建造物保存などの問題や国の最新の動向など、まちづくりと景観の今後の展開を考える。							事前: これからの日本や長崎市が重点的に取り組んでいこうとしている施策を調べる。 事後: 持続可能なまちづくりについて考察する。						
第8回	総括・最終課題の作成: 講義全体の振り返りを行い、長崎の景観まちづくりに関するレポートを作成・提出する。							事前: これまでの講義ノートを見返し、最終課題の構想を練る。 事後: 課題を完成させる。						
										事前・事後 学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回			
教科書 [書名/著者名/出版社]	長崎市・景観研究所15周年記念誌/長崎市・景観研究所/自費出版							受講生への メッセージ	長崎の産業構造が造船(二次産業)や漁業(一次産業)から、観光(三次産業)へとシフトしています。観光資源としての「景観」は極めて重要ですが、景観を形成するのは目に見える建築物や工作物ではありません。実はその奥にある「人々の営み」を理解する必要があります。そこで暮らす人々のあらゆる活動が景観に繋がっていることを理解していただき、これからの地域まちづくりについて一緒に考えたいと思います。					
参考書 [書名/著者名/出版社]	長崎市景観計画/長崎市/2011年、環長崎港夜間景観向上基本計画/長崎市/2017年、長崎市歴史的風致維持・向上計画/長崎市/2020年													

